

| | | |
|----------|---------------|---------------|
| 土浦支社 | ☎029(822)4567 | ファクス(823)6488 |
| つくば支社 | ☎029(838)2235 | ファクス(838)2237 |
| 取手・龍ヶ崎支局 | ☎0297(72)1139 | ファクス(74)2700 |
| 石岡支局 | ☎0299(26)6100 | ファクス(26)6405 |

県

若者 視点で

筑波大生の「土浦のまちづくり提案」・都市計画マスタープラン策定実習発表会が19日、同市大岩田の市国民宿舎「水郷」で開かれ、市の活性化策を若者の視点から提言した。



土浦のまちづくりについて提案する筑波大生＝土浦市大岩田の市国民宿舎「水郷」

筑波大生が研究発表

活性化策

土浦のまちづくり提言

筑波大社会工学類都市計画専攻の3年生40人が5人ずつ8班に分かれ、土浦をフィールドに本年度調査・研究したテーマを最終発表。市や企業関係者らも傍聴した。

「しがらみのない立場」(大澤義明学長補佐)からの、学生らしい斬新でユニークな提言が

「継続した中心市街地にある」(5班)といった活性化案が示された。

「移動主体のモールに変え」(5班)といった活性化案が示された。

「移動改築が計画される総合病院土浦協同病院に

「固定資産税を増やし、地主や権利者に現状維持に対する危機感を植え付ける」(2班)

「ショッピングモールで」(3班)

「医療」(3班)

「穴塚地区に対し、」(土浦の自然資源を生かすのに最適な場所とはいえない)として、「市川口運動公園と京成ホテル跡地を合わせた地区」を移動先に推した。

出席した同市の東郷和男都市整備部長は「固定資産税の増税など役所にはなかなかない発想」と苦笑いしながらも、「さまざまな提言を中心市街地活性化基本計画づくりなどの参考にした」と評価した。

提案内容のパネルが来月6～14日、同市大和町のウラナー階に展示される。

(仁平克幸)